

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無 ▼	電話	042 (749) 2211
担当部課名	土木部 ▼	南土木事務 所 ▼	下水道	班 ▼
事務事業名	公共下水道等用地購入事業		事業コード	32630

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	質の高い都市基盤の整備を進めます	事業開始年度
基本施策名	第6節	下水道の整備と管理	13 ▼ 年度
施策名	第3施策	下水道管理の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

下水道法

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
相模原市管理の下水道施設が民所有地を抵触していたため、下水道施設を保持するため抵触部分の土地を買収し、適切な維持管理をするものです。		下水道施設	
		対象数	不特定多数
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
公共下水道鳩川第33-B雨水幹線用地購入 2,722,498円		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度 ~ 年度

4 評価指標

指標名			
指標式			
指標設定の意図			

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標			a	b	
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額		2,722	3,935	
	人員・時間数		1人	1人	
	人件費		8,420	8,420	
	その他経費				
	合計	0	0	11,142	12,355
特定財源					

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価	A : 達成している (100%) B : 一部達成していない(100%> 80%) C : 達成していない (80%>)	= 、 、 の平均値 =
$\frac{a}{b} \times 100 =$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
理由 :		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価	A : 適応している B : 一部適応していない C : 適応していない	理由 : 民所有地に下水道施設が抵触していることで、地権者の土地利用を阻害するため、最善の解決策である。

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価	A : 妥当である B : 一部妥当でない C : 妥当でない	理由 : 土地の購入にあたっては、用地取得等評価委員会の評価により取得しており、妥当である。

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価	A : 代替の可能性ない B : 代替の可能性低い C : 代替の可能性高い	理由 : 原因者が市であるため代替性はない。

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価	A : 満足できる B : 一部満足できない C : 満足できない	理由 : 下水道施設を保持することにより、市民が安心して生活することができる。

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価	A : 有効である B : 一部有効である C : 有効でない	理由 : 下水道施設の機能を保持することで、雨水による浸水被害を防ぐことができる。

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 民地を侵さぬよう十分注意して施工しなければならない。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 施設の再構築と用地取得との費用の比較をし、決定したものである。

7 総合評価

評価	AAA	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方			
<input type="checkbox"/>	継続	説明	当該下水道施設は、平成元年12月に境界確定図を作成し抵触しているのが判明した。平成12年1月に土地所有者代理人から施設の撤去要望があり、関係各課と協議した結果、用地を取得することに決定した。
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input checked="" type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--